

大館の歴史散歩

近代化と
その遺産④

懐かしい鉦山のにぎわい

明治以降の大館地方における鉦山経営は、流動する時代の影響を敏感に反映してあわただしく興亡を繰り返している。花岡鉦山は、明治十八年に花岡の浅利藤松・藤盛常吉・畠山万之助・藤盛貞吉の四人の共同探鉱によって発見された。

浅利らは農商務省に鉦区出願したが、大館町の横山勇喜が試掘権を得ている。横山は明治二十一年から小規模ながら銀製錬場を設けて開発に努めたが、掘進につれて銀含有率が低下。経営困難に陥り明治二十六年以降十年ほど廃山同様の時代が続く。



現在は分析室となっている旧変電所

この鉦山を明治四十三年冬に買い取った小林清一郎は、翌年春から、三座の溶鉱炉と火力発電所を建設して銅製錬に着手。明治四十五年からは小規模な露天掘りを開始し、一日百十トン余りの鉦石を処理したが、製錬場の規模が小さいことと装置不備のため成績が上がらなかった。そのうえ、山林や農作物への被害が大きな社会問題になり、大正二年、操業を休止した。

翌年、小林は小坂鉦山から融資を受けて、花岡―大館間に鉄道を敷設し、小坂鉄道と連絡させて鉦石輸送の便を図っている。この鉄道が、昭和六十年三月に廃止されるまでの七十有余年間、花岡と大館を結んで活躍したことは、まだ人々の記憶に新しい。鉦山は、大正四年に経営権が藤田組(後の同和鉦業)へ売却され、大正六年に藤田鉦業株式会社となった。この年、現在鉦山事務所の裏にある「花岡分析室」が「変電所」として建設されたと伝えられている。この建物はレンガ造り木造トラス構造で、外観はほぼ当時の姿をとど

め、上部をアーチ型とした窓が軽快にならんでいる。

このころまでの花岡は、本郷を中心に一面の田園風景が広がっていたが、堂屋敷をはじめ次々に鉦床が発見されると、前田地区に六軒・八軒棟割り長屋が、猫鼻地区には上級職員の二軒長屋が建ち並び、商店・飲食店街の桜町が出現して、鉦山町として活況を呈した。

幾多の難局を克服し、発展してきた鉦山が、今の激動の中で年々縮小されている。「鉦山の生活もこれまでか」と、身の振り方を思う友の姿にたとえようもない寂しさを感じ、当時のにぎわいがことさらに懐かしい。

市役所史跡探訪会

私の本棚

中央図書館新着図書

『私の歩いた道』

平山 郁夫 著 日本経済新聞社

遙かな少年の日々、赤貧の学生生活、異国での体験など、忘れえぬ日々の回想を素描と文でつづるヴィジュアルな自伝。



◇一般書 ◇麻酔(渡辺淳一) ◇深い河(遠藤周作) ◇氷炎(高樹のぶ子) ◇冬の道(銀色夏生) ◇次代を創る(岩國哲人) ◇銀座界限ドキドキの日々(和田誠) ◇古代日本人の謎(安田徳太郎) ◇源氏物語花籠(西木忠一) ◇河原町三条下ル、龍馬暗殺(広瀬仁紀) ◇ロッシェ二伝(スタンダー) ◇あの人この人(戸坂康二) ほか

◇児童書 ◇地下鉄のひみつ(松本典久) ◇ぼくのおじさん(斉藤洋) ◇ふしぎなコンコン(儀みゆき) ◇くまたんのABC(長野博一) ◇ぴっかぴかの海(中村征夫) ◇パパのかけ(アラン・ル・ソー) ほか

7月のテーマ関連図書コーナー

『自然に親しむ』

親子読み聞かせ会

毎月第1金曜日 午後2時30分から

中央図書館の休館日

7月18日(日)、22(木)

クイズ 広報 おおだてがヒント

▽問題

①「創造の森」整備事業は何力年計画?

②公共下水道の排水設備工事は、供用開始後何年以内に実施しなければならない?

③今年のスポーツ・レクリエーション祭は何月何日開催?

④公営駐車場の名称募集、締め切り日は?

⑤大館市民読書感想文課題図書はいくつ?

▽応募方法

はがきに住所、氏名、年齢、性別、答え(例

①②―)を書いてご応募ください。イ

ラストなども大歓迎です。

▽締め切り

7月28日(水) 当日消印有効

▽応募先

〒017大館市字中城20番地

広報おおだてクイズ係

※全問正解者の中から抽選で5人に、秋田犬のオリジナルレホンカードを贈ります

▽6月16日号の答え

①125ヘクタール ②36人

③8年度 ④20% ⑤97%

▽6月16日号の当選者

。渡部豊美さん(二ツ森)

。木村孝之助さん(狐台)

。千葉恭子さん(東台4丁目)

。奈良幸子さん(大滝)

。富樫良子さん(幸町)

※応募総数47 全問正解者18